日本一人口の多い村 **読谷村**（よみたんそん） 人口42,397人 （令和８年4月末）

105号 2026年3月 定例会

議会だより

★議会に一言★

大きいすべり台がある公園ができてほしい。放課後みんなともっとあそびたい。

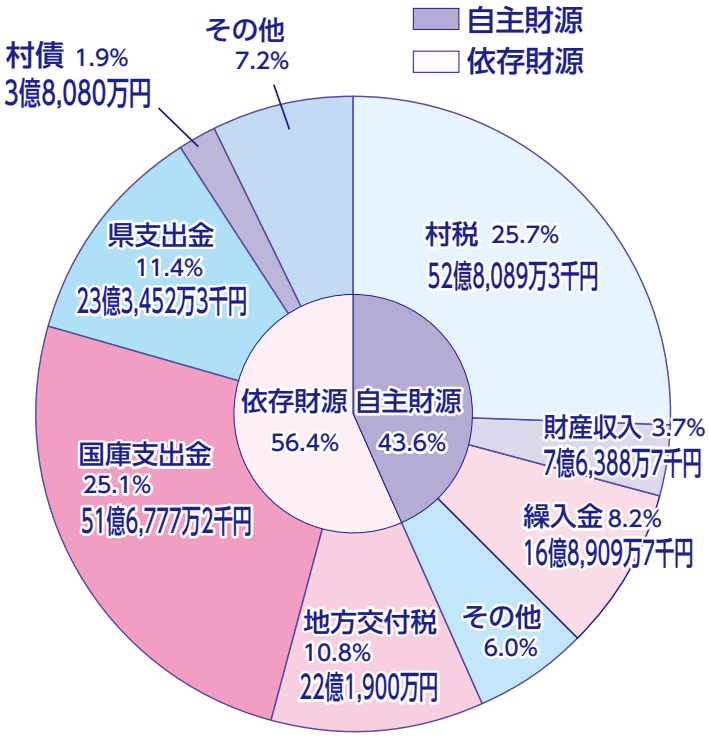
題字：具志堅（ぐしけん） 咲希（さき）
（読谷小学校4年生）

主な内容

◎令和8年度 一般会計審査報告 …… p2～6
◎政務活動報告 …… p7
◎一般質問 …… p10～18

可決! 205億円!!

歳　入



令和8年度の一般会計予算が3月定例会において可決されました。
一般会計の歳入歳出予算の総額は**205億5,677万3千円**で対前年度比8,285万1千円(0.4%)の減。
自主財源は対前年度比7億4,761万1千円(7.7%)の減。
また依存財源は対前年度比6億6,476万円(6.1%)の増。

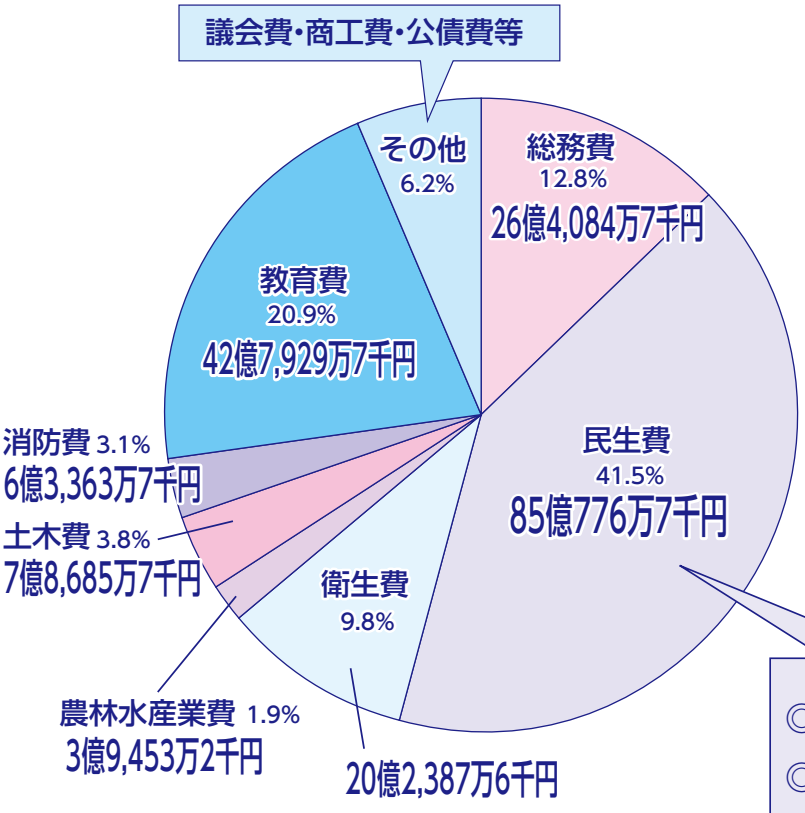
※自主財源
村が自主的に収納することができる財源で村民税・固定資産税など

※自主財源における「その他」とは
分担金及び負担金・使用料及び手数料・寄附金・繰越金・諸収入

※依存財源
国・県からの補助金や交付金など

※依存財源における「その他」とは地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金、地方消費税交付金、施設等所在市町村調整交付金など

歳　出



◎社会福祉費
◎児童福祉費
- 国民年金
- 老人福祉
- 障がい者福祉
- 保育園運営

令和8年度 一般会計予算

自　主　財　源

◎村民税　18億5,949万9,000円
前年度より6,280万(3.5%)の増

◎固定資産税は31億101万2,000円で、前年度より1億8,617万6,000円(6.4%)の増
主な要因　畑等から宅地への地目変更や負担調整、家屋の新築等によるもの

◎寄附金　5億4,100万円で前年度より7,200万円の増
主な要因　ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)

依　存　財　源

◎地方交付税 22億1,900万円で前年度より1億1,800万円(5.0%)減
主な要因 税収の伸びによる交付税の減額により

◎国庫支出金 51億6,777万2,000円
前年度より3億4,801万6,000円(7.2%)増
主な要因　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3億5,029万9,000円の増により

◎県支出金23億3,452万3,000千円で前年度より
3億1,364万4,000円(15.5%)の増
主な要因　給食費負担軽減交付金1億6,588万円の皆増により

特別会計予算

国民健康保険特別会計	53億2,624万9千円
後期高齢者医療特別会計	7億1,222万5千円
下水道事業会計支出予算	8億9,968万8千円
水道事業会計支出予算	17億3,889万1千円
合計	86億7,705万3千円

審査特別委員会

総務常任委員会　分割審査報告

- **財産収入** …… **7億6,388万7,000円**
  前年度より2,214万７千円（3%）増額
  主な要因：村有地賃貸料

- **繰入金** …… **16億8,909万7,000円**
  前年度より10億9,671万1,000円（39.4%）減額
  主な要因：公共施設建設基金繰入金　14億949万7000円減

- **村債** …… **3億8,080万円**
  前年度より4,330万円（12.8%）増額
  主な要因：喜名幼稚園園舎除却事業債とまちづくり支援事業債

歳出の部

- **コミュニティバス運営事業**
  車両購入費 …… **3,290万5,000円**

- **ふるさとづくり基金積立** …… **5億4,000万円**

- **読谷まつり運営事業** …… **2,660万円**

- **平和行政推進事業**
  ピースコンサート運営費用 …… **950万円**

読谷まつり前夜祭 ピースコンサート

令和８年度　予算

建設経済委員会　分割審査報告

・物価高騰対策支援金給付事業 …… 2億5,220万2,000円
令和８年１月１日時点の住民に対し1人あたり5,000円の給付

・シムクガマ公園整備事業
公有財産購入費（８筆）…… 3,484万9,000円

・公園維持管理事業実施計画委託料 …… 193万6,000円
喜名観音堂東屋の建設委託料

・公園維持管理事業請負費 …… 550万円
都市公園3ヶ所に防犯カメラを設置

・農村風景環境保全事業委託料 …… 1,705万8,000円
観光地周辺の道路等の除草・清掃・剪定・伐採で本村の魅力ある沖縄らしい農村風景を保全活用することで観光振興に役立つことを目的とする

令和8年度予算審査特別委員会

文教厚生常任委員会　分割審査報告

・民生委員協議会運営補助金 …… 1,255万1,000円

昨年改選したことに伴う県外研修費が含まれている（委員定数78名に対し充足数は67名）

・老人福祉費　高齢者保健福祉計画・介護保険計画策定事業 …… 410万1,000円

・地域生活支援事業 …… 9,444万1,000円

前年度より146万4,000円増の要因は令和８年度より障がい者や家族のサービスに繋げられるよう相談業務を連携強化のため、基幹相談センターとして3名体制で、役場に常駐で1名配置

・子ども家庭総合支援拠点事業 …… 665万4,000円

家庭児童相談・支援体制の強化に向け、こども家庭センターを設置し機能強化に取り組む

・児童福祉費　印刷製本費 …… 23万1,000円

子どもの権利等が記載されたオリジナルノートを印刷配布

・学校給食費無償化支援事業 …… 2億5,055万3,000円

（前年度より１億7,047万円8,000円増）

給食費無償化支援事業が中学校給食費無償化に続き小学校まで拡充した

・屋内運動場整備事業 …… 12億5,739万7,000円

昨年度に引き続きの費用となっている
陸上競技場の横に屋内運動場の整備をする

令和7年度政務活動報告

議席番号順に記載

	期　間	場　所	内　容
與那覇徳雄	令和７年７月	沖縄県久米島町	不登校対策及び支援について等
	７月	滋賀県大津市	市町村議会議員セミナー（地域の魅力を引き出す文学の力など）
仲眞朝雄	申請なし		
與那覇沙姫	資料購入、書籍購入		
城間真弓	資料購入、広報		
山内政徳	令和７年８月	東京都・茨城県	国交省への要請・DX 推進事業など
上地利枝子	実績なし		
平良勝志	実績なし		
國吉雅和	申請なし		
岸本大二郎	令和７年３月	東京都市ヶ谷	防衛省にて基地交付金・助成金について
		東京都千代田区	総務省にて地方交付税について
神谷嘉栄	実績なし		
江田守恭	実績なし		
比嘉幸雄	令和７年８月	東京都・茨城県	国交省への要請・DX 推進事業など
	３月	東京都市ヶ谷	防衛省にて基地交付金・助成金について
		東京都千代田区	総務省にて地方交付税について
當間良史	令和７年８月	東京都・茨城県	国交省への要請・DX 推進事業など
	３月	東京都市ヶ谷	防衛省にて基地交付金・助成金について
		東京都千代田区	総務省にて地方交付税について
松田昌邦	令和７年７月	滋賀県大津市	市町村議会議員セミナー（地域の魅力を引き出す文学の力など）
山城正輝	申請なし		
伊佐眞武	申請なし		
大城友誼	令和７年１１月	東京都新宿区	事例から学ぶ地方創生
長濱宗則	令和７年８月	東京都・茨城県	国交省への要請・DX 推進事業など
	３月	東京都市ヶ谷	防衛省にて基地交付金・助成金について
		東京都千代田区	総務省にて地方交付税について
伊波篤	申請なし		

※実績なしとは：政務活動費を申請はしたが未使用

議案第21号　読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

読谷村国民健康保険税条例（昭和47年読谷村条例第59号）の一部を次のように改正する。

3条　所得割額　総所得金額及び山林所得金額の合計額に100分の7.2を乗じて算定する。

「１００分の７.２」から「１００分の７.２６」に改正

第４条　第２条第２項の被保険者均等割額は被保険者17,000円とする。
（被保険者に係る基礎課税額の世帯別平等割額）

「１７,０００円」から「２２,０００円」に改正

第５条　第２条第２項の世帯別平等割額は、次の各号に掲げる世帯の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

第１号中

特定世帯以外　「１９,０００円」から「２０,０００円」
特定世帯　「９,５００円」から「１０,０００円」
特定継続世帯　「１４,２５０円」から「１５,０００円」に

第６条　第２条第３項の所得割額は、基礎控除後の総所得金額等に100分の2.6を乗じて算定する。

「１００分の２.６」から「１００分の２.７」に改正

第７条　第２条第３項の被保険者均等割額は、被保険者１人について6,000円とする。
（被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の世帯別平等割額）

「６,０００円」から「８,０００円」に改正

第７条の２　第２条第３項の世帯別平等割額は、次の各号に掲げる世帯の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

特定世帯以外の世帯　「６,０００円」を「７,０００円」
特定世帯　「３,０００円」を「３,５００円」
特定継続世帯　「４,５００円」を「５,２５０円」に

第８条　第２条第４項の所得割額は、介護納付金課税被保険者に係る基礎控除後の総所得金額等に100分の1.9を乗じて算定する。

「１００分の１.９」から「１００分の２.１５」に改正

第９条　第２条第４項の被保険者均等割額は、介護納付金課税被保険者１人について6,000円とする。

「６,０００円」から「８,１００円」に改正

第９条の２　第２条第４項の世帯別平等割額は、１世帯について5,000円とする。

「５,０００円」から「５,５００円」に改正する。

（中略）

附　則

（施行期日）

1　この条例は、令和8年4月1日から施行する。

（適用区分）

2　この条例による改正後の読谷村国民健康保険税条例の規定は、令和8年度以後の年度分の国民健康保険税について適用し、令和7年度分までの国民健康保険税については、なお従前の例による。

賛否両論!!!

第551号定例会（令和８年３月24日）議案第21号

読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

原案可決!

賛否あり

反対　與那覇沙姫

県との税率差を理由に引き上げる案だが、物価高騰や水道料金値上げ等で村民負担は限界に近い。65歳以上または40歳未満（年収200万円）で年1万1500円の増、40歳未満の夫婦と子ども3人の世帯（年収300万円・2割軽減適用）でも年3万3700円の増。国保加入者は低所得・不安定層も多く、赤字計画もなく検討が尽くされているとは言えない。

賛成　岸本大二郎

物価高騰下の引き上げは極めて痛みを伴う決断です。国の制度課題は事実ですが、読谷村議会が直視すべきは目の前の財政危機です。他市町村との足並みを揃えるべきである。将来世代の教育・福祉予算を確実に圧迫します。現状維持は優しさではなく負担の先送りです。10年、20年先の読谷村、そして沖縄県の持続可能な医療を守り抜くための苦渋の決断であることを申し上げ、本案に賛成します。

反対　城間真弓

本村の国保の現状は、令和8年3月時点で滞納者数が5,222件となっており、村民の負担はすでに限界を超えている。同じ年収でも、社会保険と比べて国保の負担は約3倍となっており、世帯人数が多いほど負担は更に重くなる。また、低所得者や、無収入の方々に負担が集中する国民健康保険は構造そのものに大きな問題がある。自治体の努力だけでは解決できず、他市町村や県と連帯し、国に対し国庫負担の拡充と制度の見直しを強く求め、国保の引き上げに反対する。

賛成　仲眞朝雄

国保税引き上げは、各家庭、とりわけ高齢者や子育て世代に重い負担となり、歓迎できるものではない。しかし、国保は村民の命と生活を支える最後の砦である。今回の改正は赤字を一挙に解消するものではないが、赤字構造を放置すれば、財政、村民の生活にさらに、大きな負担を招きかねない。
悪化の進行を抑え、改善策を講じる時間を確保する現実的措置と受け止め、委員会留意事項の着実な履行を求めた上で苦渋の賛成とした。

件　名	議決結果	議席 / 氏名	1 與那覇徳雄	2 仲眞朝雄	3 與那覇沙姫	4 城間真弓	5 山内政徳	6 上地利枝子	7 平良勝志	8 國吉雅和	9 岸本大二郎	10 神谷嘉栄	11 江田守恭	12 比嘉幸雄	13 當間良史	14 松田昌邦	15 山城正輝	16 伊佐眞武	17 大城友誼	18 長濱宗則
議案第２１号 読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決		○	○	×	×	×	※	○	退	○	退	○	○	○	○	×	×	○	○

※議長は採決に参加しない　　※退は退席

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

沖縄西海岸道路『読谷道路』
完成予想図

大城（おおしろ） 友諠（ともぎ）

読谷村長選・衆議院選挙について

問 選挙結果を見ると年代での投票率の差や政治参加の在り方について課題も見えてきた。選挙は民主主義の基盤であり若い世代が政治に関心を持ち参加していくことは地域社会にとって大変重要である。主権者教育の充実や情報発信の工夫などを通して住民が参加しやすい選挙環境づくりを進めることを期待する。

村広報誌へのチラシ混入配布について

問 再発防止の対応策を考えているか

答 ガイドラインを作成し各自治会に契約内容の周知徹底を図ることを確認する。

伊波篤新読谷村長の基本姿勢について

問 村内でお金が回る仕組みを作るとある。3小学校建設はPFIだけではなく村内企業へ発注していただきたい

答 それも含めて検討する。

問 村の選挙公報で開発申請面積の見直しと撤廃とあるが

答 農業振興地域が開発抑制地域にならない様関係機関や関係団体とよく話し合う。

（要望）本村が開発抑制されず秩序ある土地利用を維持してきた背景にはこの開発条例の役割も大きくよく建築士会と話し合っていただきたい

沖縄西海岸道路について

問 道路整備は時間がかかる事業である。だからこそ地域が声を上げ続けることが重要である。村として主体的に国と県に読谷道路と嘉手納バイパスの早期完成を求めて下さい。

県道6号線の渋滞対策について

問 西海岸道路である読谷道路や嘉手納バイパスの早期開通こそが最大の渋滞対策である

読谷村屋内運動場建設工事について

問 令和10年3月の完成に向けて安全第一で着実に事業を進めていただきたい

読谷補助飛行場の戦後処理について

問 伊波村長も歴代の村長方針を踏襲するか

答 歴代村長の方針を引き継ぎ旧地主の所有権回復に向けた戦後処理をしっかりと進める。

小学・中学学校給食費無償化です

國吉（くによし） 雅和（まさかず）

伊波篤新村長の基本姿勢について

答 村長選挙が実施されたことは、政治に参加する大切な機会であったと認識している。

問 「車の両輪」発言と二元代表制について

答 首長は、執行権を用いて行政運営を行い議会は、監視機能を発揮し村民の声を反映させる立場である。

議員に欠員が生じたことについて

答 欠員が生じた影響は最小限で、不具合が生じていることがあれば真摯に受け止める。

議員報酬及び定数の審議会答申について

答 読谷村長が村の付属機関に対して諮問し、いただいた答申でありますので、尊重すべきものと考えている。

学校給食費無償化支援事業について

答 中学校分78,283千円は県と村の折半で、小学校分172,260千円は国と県の補助金。

問 給食費無償化の継続性は

答 補助制度が終了し、村単独で事業を継続する場合には、財源確保の観点から厳しい。

国民健康保険税について

答 国民健康保険は、平成30年から沖縄県と各市町村で共同運営をする。沖縄県は各市町村の赤字削減・解消計画(国定義赤字)に取り組む計画を公表。

問 国保税改正後の増額と実施時期は

答 約1億4千万円で令和8年4月1日実施。

問 住民周知期間、激変緩和措置の検討は

答 決算で赤字が見込まれ、税率の見直しを先送りすることは、国保財政の状況悪化を危惧。そこで、3月議会へ上程する判断。周知について、公民館と文化センターで説明会を開催。

読谷村診療所の指定管理について

答 村と法人との協議で一般社団法人楽和会を指定管理者として、管理期間を3年間とし年間管理委託料は、8,500千円と決定。

小学校校舎改築のPFI導入調査について

答 (株)建設技術研究所沖縄支社へ委託し報告書の期限は、令和9年2月までを予定。

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

国の予算による小学校
給食費無償化がスタートします。

きしもと だいじろう
岸本大二郎

財政基金運用について

問　基金繰入額が8.5億円に増加し、基金に依存する予算編成が続いている現状について、新村政の財政認識と中長期的な見通しは

答　物価高騰等の影響により厳しい状況であり、基金のみを原資とする事業展開には厳しい現状である。今後は事業の選択と集中を図っていく。

（要望）公約を着実に進めていくためには、安定した財源確保が重要であると考えます。その一丁目一番地は、国・県との連携による財源確保であると認識しています。補助制度の活用を進めながら、基金の活用と積立のバランスを図り、持続可能な財政運営となるよう要望。

持続可能な学校給食費の無償化

問　中学校給食費の完全無償化に伴う一般財源の負担総額と村民1人当たりの負担額について

答　一般財源の村民負担額は年間約3,948万円。

（提案）制度を継続していく上では、一般財源への過度な依存を抑える視点も必要であると考える。嘉手納町の事例のように、防衛関連交付金など特定財源の活用も含め、持続可能な財源確保について検討を

動物愛護について

問　殺処分ゼロを支える愛護団体は、多くが自己負担で活動している現状がある。村としての認識と今後の支援策を問う

答　環境衛生の向上に重要な役割を担っており、支援の必要性は認識している。

（提案）現場の負担軽減に向け、ふるさと納税で使途を指定できる仕組みを活用するなど、団体支援につながる具体的な方策について検討を

創立125周年、新たな歴史を築く
新校舎建設計画スタートしました。

ながはま むねのり
長濱　宗則

築40年を越える古堅小学校の立て替えに向けて「古堅小学校新校舎基本計画」が策定されました。学校整備において民間活力導入可能性調査(PFI導入)が公募されましたが、基本方針とは

答　老朽化が進み古堅小学校、読谷小学校、2校を同時期に改築することが可能かどうか、財政負担の平準化を総合的に検討する。

問　学校整備におけるPFI導入で地元企業は不安感を抱いている、解消に向けて対策は

答　民間活力導入可能性調査においては、村内外の民間事業者を対象とした意見交換を実施し、民間のノウハウや参入意向等を把握し、実現の可能性について検討したい。

読谷村における指定管理制度導入の施設と委託料支払っている施設名は

答　現在指定管理は42施設、委託料施設は、みらい児童館、健康増進センター、読谷村診療所、伊良皆、渡慶次、長浜地区運動広場、パークゴルフ場。

物価高が収束の兆しも無く村民の生活は厳しい状況が続いています。水道料金が県企業局の値上げで令和8年5月から読谷村も値上げされますが予定通り踏み切るのか

答　令和7年6月第545回議会定例会において可決された条例に基づき予定通り実施致しますが、物価高騰対策として、引き続き令和8年11月までは基本料を減免致します。

5歳児健診は、発達障害の早期発見と適切な支援へのつながりが目的とされております。早期に支援することで、就学後の学習面の困難、情緒不安や不適応行動など2次障害を防ぎます。村として5歳児検診の実施体制は

答　村では5歳児健診は、実施方法や検診後のフォロー体制の整備等が必要であり整備について検討している。

Q 村政を問う ―一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

白熱する闘牛大会!(うるま市)

當間（とうま） 良史（りょうじ）

座喜味の地頭旧家の復元について

問　座喜味のマーチョーグァーチジヌヒヌカン（地頭火の神）の成り立ちは

答　琉球王国時代、読谷山間切の領主であった座喜味親方の屋敷跡に、村の安寧を祈るために祀られた火の神で、戦前までは読谷山村の守護神として村行事で拝まれていた。

問　当時の屋敷跡の調査・復元の考えは

答　現段階で計画はない。

問　現在自治会で出来る限りの管理を行なっているが、隣接道路がない上に樹木が繁茂しており、対応に苦労している

答　各集落に所在している文化財については、地権者および管理者または利用者において維持管理がなされると考える。

（提言）戦前は村行事として祀られていた拝所であることから大事の際は協力を。

スケートボード場の今後について

問　これまで利用者から要望などはあったか

答　利用者からは、もっと高難度なセクションの設置の要望があった。

問　夜でも滑れるようナイター設備や日陰を求める声があるが

答　現時点での設置の予定はないが、今後も活用していただけるよう見守っていく。

闘牛場の建設の可能性は！

問　読谷村の闘牛の歴史とは

答　読谷村史によると、読谷村は闘牛が盛んなところで、戦前から闘牛が行われてきた。太平洋戦争の激化に伴い一時途絶えたが、戦後には沖縄初の闘牛大会が村内で開催されている。

問　戦後初の大会が開かれるほど盛り上がりのある本村に闘牛場を建設してはどうか

答　現在の村有地では厳しいが、どこに造るのかは土地・面積など総合的に判断するものと考える。

（村長）多くの村民の声があることは重々承知しており、闘牛組合の皆さんの活躍も拝聴している。今後の対応について課題も含め調査研究していきたい。

朝日に眩惑され、歩行者が見づらい通学路

仲眞（なかま） 朝雄（あさお）

議員報酬等審議会答申は民意を補完するものか。民意は選挙だけでなく、審議会制度等を通じ多様な意見を聴き、議会の議論を経て形成されるものではないか

答　審議会は付属機関であり、答申は条例改正の重要な判断材料である。民意は多様な意見聴取と議会の議論を通じて形成される。

喜名小学校通学路は、複数工事による交通量変化や危険性が指摘され事故の予見可能性が高い。学校・教育委員会・道路管理者・警察による臨時の「通学路合同点検」を行うべきでは

答　関係機関が連携し安全確保にあたる必要性がある。

（提言）受注業者の工事安全計画・施工安全計画に具体的安全対策を明記するよう求めた。

今回、当事者から評価が示された、障害のある村民の投票配慮については、職員の資質、経験に依存するのではなく、制度として確立するべきでは

答　投票後の総括を行った。今後も事前の研修、必要備品等、合理的配慮の観点から環境整備に努める。

（提案）誰が担当しても同水準の対応ができる仕組みづくりを要望。

交流体験型の高い教育的価値が認識されているなら、本村中学生の修学旅行でも研究すべきでは

答　効果は認識しているが、過去に検討されたことはない。

（提言）読谷村には、全国から子ども達が学びに来る。教育効果の検証も含めモデル的な取り組みとして研究を望む。

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

楚辺にある浄化センター敷地内の碑

比嘉（ひが）　幸雄（ゆきお）

総合情報センター敷地内、民間収益施設の説明

答　ホームセンターにスーパーが併設された施設になる。

問　村内国道における雑草繁茂について、除草が出来る抜本的な方法は

答　植樹帯を植樹桝に変えることや、除草コンクリートの打設構造物目地部などの除根。

問　村内に進出するホームセンター等の現状説明を求めます

答　アロハゴルフセンターの営業終了に伴い、民有地及び本村の村有地を含めた形で大型商業施設の計画があった。村有地を除く形で計画を再検討するという。具体的な進捗についての情報はない。

都屋地区の下水道整備について

答　現在、本村の下水道事業については、国や県からの交付金を活用し、大木土地区画整理地区及び伊良皆・大木地区を中心に年次的に整備している。都屋地区の下水道整備については、整備条件が整い次第事業計画に基づき行っていく。

運転代行業者へ事業支援を

問　読谷村は運転代行業者が、他地区に比べ非常に少ないと聞く。事業継続緊急支援が必要ではないか

答　県公安委員会に認定されている本村の自動車運転代行業者は19事業者となっている。自動車運転代行業は、待機時間の長さや特定の時間帯に依頼が集中すること、人手不足など様々な要因により、需要と供給のバランスをとる事が難しい状況ではある。現時点においては行政として事業継続緊急支援を行う予定はない。

問　新型コロナ禍以降その影響は飲食業・自動車運転代行業に多大な影響を与え、経営を圧迫し続けている。飲酒運転根絶を唱えるのは運転代行業者のみである。支援があれば飲食業界の活性化にもなる。検討されては

答　経営面での支援であれば商工会で融資などの制度がある。

第一工区11年で約半分の出来・いつ完成やら、もうまてない!.

山城（やましろ）　正輝（せいき）

新村長「非核宣言」「憲法九条」「不戦宣言」の碑等、しっかり継承する！

問　これまで4人目の村長と対する。これまでの村長らが築いてきた平和行政をどう継承するか。また投票率約60%への上昇をどう思うか

答　平和学習や平和創造展などを開催する。投票率上昇は意義がある。

地域・桜猫対策に60万円、多頭飼育者問題は関係者で協議、広報でもアピール！

問　不妊手術費用等に充てるため、ふるさと納税を創設したらどうか

答　現時点でふるさと納税を充てる考えはないが、令8年度でふるさとづくり寄付金を予算計上している。また多頭飼育者、地域福祉関係者等、横のつながりが大事と考える。

58号読谷道路第一工区(沖ハムー座喜味間)の工事については「早期に対応する」と事務所！

答　平25年から工事着工し、約49%が進捗。共用時期は見通せる段階に公表予定。

県道12号、座喜味ナカヌカーの信号調整は大丈夫と思う！(今後も注意必要と要望)

答　9月10日まで5回工事。交通誘導員や専門誘導員を配置し、支障のないよう施工する。

12月議会での儀間タッシ原における質問工事は来週に入る！

答　草木管理のために指導を行い、苗の供給を予定。3ヶ所の沈砂池清掃は、令8年環境事業で実施を予定している。

村道、波平ポルシェ線と農道アリビラ・ポルシェ線の排水路泥上げ、歩道・自転車道等計画。除草、伐採も実施！

長浜川を浚渫し、動植物の保護育成と子ども達の活動支援を強化してはどうか？今後も引き続き管理！

答　現在、河川の安全管理上から利用を制限している箇所がある。崖の一部が崩れていると思われる箇所を確認しており、浚渫についても影響がないかを注視していきたいと考えている

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

村内で事故が多い交差点
(渡慶次儀間線)

よ な は のりお
與那覇徳雄

高齢者支援等について

問 保険者機能強化推進交付金の概要は

答 高齢者の自立支援、重度化防止、介護予防を促進する為、自治体の取り組みを評価し、財政支援を行う制度。

問 保険者機能強化推進交付金事業実績は

答 ５年度209万円、6年度131万7，693円。7年度の実績はない。

問 高齢者を対象とした支援交付金等の活用をどの様に考えているか

問 介護予防や健康づくり、通いの場への支援等を行い、高齢者が要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で、いつまでも元気で自立した生活を営むことができる様な支援の一助として活用。

紅イモ生産について

問 イモ基腐病に抵抗性のある品種は

答 基腐病に抵抗性のある品種は、「おぼろ紅」、「ニライむらさき」、「紅つよし」、「Hai-Saiすいーと」の４品種。

問 増殖用苗の栽培農家への配布状況は

答 令和７年度延30農家に対し8,360本の増殖用苗を配布。

問 新規紅イモ生産農家数と営農支援は

答 農家数は20名、営農支援として経営計画作成、栽培講習会、勉強会を通して営農支援実施。

問 紅イモ農家と加工業者との連携は

答 食品加工業者との連携については長期に渡り取引の実績が有る農家には信頼関係が構築され連携が図られている。

交通安全対策について

問 信号機が設置されてない交差点で交通事故件数が多く安全が懸念される交差点は

答 渡慶次波平線と波平3号線、渡慶次儀間線と渡慶次1号線、比謝牧原線から牧原線に合流する三叉路、大湾東線と大湾東2号線で比較的交通事故が多い。

問 通学路カラー舗装の取組み及び計画は

答 通学路カラー舗装について段階的に施工実施、８年度はふるさとづくり寄附金を活用して未施工の学校指定通学路の全てにカラー舗装を施工する計画となっている。

小学校も無償化へ

たいら かつし
平良 勝志

令和８年度施政方針より

問 学校教育について

施政方針では「多様化する社会に対応するために」とあるが具体的に

答 様々な違いを持つ人々が共存しそれぞれの個性や価値観が尊重される社会に対応するためこれからの時代に求められる「児童生徒の生きる力」を育成することです。

問 「学校運営協議会の充実」とあるが具体的に・メンバーは

答 学校の運営へ必要な支援に関して協議する機関であり学校と家庭及び地域住民等との信頼関係を深め児童生徒の生きる力を育むことを目的としています。委員は対象学校の所在する地域の住民・保護者・教職員、対象学校の運営に資する活動を行うもの学識経験者、教育委員会が必要と認める者で各小中学校１２名以内で構成されている。

問 スポーツをとおしたむら(ひと)づくりの推進

多種多様な競技のキャンプ及び大会誘致活動を継承とは、現在誘致している以外にも個人や団体の誘致を行うのか

答 現在受け入れている競技団体等の継続的な受け入れに努めつつ、本村の充実した体育施設や地域資源を活用する新たな競技や、個人・団体の誘致についても取り組んでいきたい。

問 学校給食について

「保護者の負担軽減のための無償化」とあるが、物価高騰（食材高騰）が続けば給食費の値上がりも考えられる、無償化になった際の質と量は保てるのか

答 工夫を凝らしながら給食運営を行なっている所であります。今後も物価高騰、特に食材費の高騰が続く可能性があることから、他市町村の状況も十分に把握し、引き続き適切な対応について検討。無償化後においても、これまでと同様に学校給食摂取基準に基づいた栄養バランスを確保し、安全で安心な給食の提供に努めていく。

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

村民は限界。国保制度そのものの見直しを国へ!!

城間（しろま） 真弓（まゆみ）

R8年度施政方針より、新村長としての姿勢・具体的な取り組みを問う

問　村長の政策に掲げられていたフリースクール等の給食費無償化と、18歳までの医療費無償化実現はいつ頃予定か

答　フリースクール等の給食費無償化においては県の「フリースクール等に通う児童・生徒の実態調査事業」の調査結果を踏まえ、今後の対応を検討。18歳までの医療費無償化については県の動向を注視し、早期実現に向けて取り組んでいく。

（提言）県の動き待ちで政策を進めるのではなく、子どもたちの環境を支えるために、村が主体的に政策実現に向けての取り組みを！

道路維持管理を含む行政対応における公平性を問う

問　道路の危険箇所について通報を受けた場合の対応及び判断基準は明文化されているのか。また、住民からの通報と議員からの指摘に、行政の対応に差が生じることはないか。

答　対応基準や判断プロセスについて明文化はされていないが、現場確認の結果に基づき危険度や緊急度を判断し対応している。また、村民と議員からの通報も同等に重要視している。

（提起）道路の維持管理において通報後の対応基準の明文化、応急対応までの時間の目安設定など「公平性と透明性」を担保する仕組みを！

国保税の引き上げ反対！R8年度3月現在における国保税の滞納世帯数と国保税引き上げによる1人当たりの負担額は

答　R8年3月現在、滞納世帯は5,222件。1人あたりの負担額は約1万1千円。

（提起）国保制度は低所得者や無収入など負担能力の厳しい方々に保健税が集中する。滞納世帯数の結果からも制度の限界がわかる。他市町村や県と連帯し、国に対して国庫負担の拡充や制度見直しの声を！

鳳バス停 役場前

山内（やまうち） 政徳（まさのり）

残波岬公園は、村民の憩いの場所及び景勝地として人気の場所である。将来における読谷村の計画について

答　長寿命化計画に基づき適正な改修、維持管理に努める。

問　遊歩道の内の樹木はどうするか

答　配慮していく。

基金の運用についてインフレの中、基金の目減りについて考えているか

答　今現在、国債運用が有利だと判断している。

鳳バスについて

問　鳳バスを学校通学の子供達の料金を無料にすることは出来ないか

答　鳳バスは国土交通大臣から、一般乗合旅客自動車運送事業の許可を得て運行しており、同事業は対価が伴うものとなっている。

問　鳳バスの運行を子供達の登下校に合わせて運行できないか

答　現在鳳バスの更なる利便性向上を図るため、運行ルートの見直しを行なっており、子供達の登下校に特化した運行便を計画している。

村長の施政方針から

問　「景観形成を基本としつつ、村民生活や地域の実情を踏まえながら、現行制度の運用状況について検証する。」とあるが、具体的説明を

答　読谷村土地開発行為の条例、現在の開発許可の面積500平方メートルから3000平方メートルの内容が現状とあっているか検討する。

問　「浄化槽から下水道へ切り替えを行う世帯に対して補助金を交付する事で、村民の負担軽減及び接続率向上を図り、生活環境の改善や自然環境の保全に努める。」とあるが、具体的に説明を

答　単独浄化槽の接続に25万円、合併浄化槽の接続に20万円を補助の内容です。

問　「本人が望む医療介護等大切な家族や支援者と話し合う「人生会議」の普及・啓発に努める。」とあるが、どういう内容か

答　もしもの時に備え、本人が望む医療や介護等について、大切な家族等と話し合いを重ね、共有することを言う。広報誌、普及啓発、講演の開催も予定している。

Q 村政を問う ―一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

村道比謝横断線整備事業

伊佐 眞武（いさ しんぶ）

村道比謝横断線について

問　現在の進捗状況はどうなっているのか。また、地主及び関係者への説明会の予定は

答　分筆測量業務を3月に契約締結した。また、分筆測量業務に関する説明会を比謝公民館、大木公民館で予定している。

問　全区間にかかる用地は何筆か。また、物件は何件か

答　用地152筆。家屋31件。墓6基。工作物40件。その他樹木等。

問　不動産鑑定の委託業務はいつ頃か

答　分筆測量が終了する11月以降の見込み。

虎地原線及び栄橋について

問　読谷村第3次道路整備プログラムにおいて、虎地原線の整備時期は10年以上の長期計画に位置付けられていましたが、次の第4次道路整備プログラムの策定予定はどうなっているのか

答　令和9年に策定を予定している。

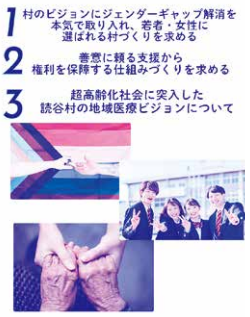
問　虎地原線の路線内にある栄橋は撤去あるいは現地保存する方針か

答　現状のまま戦争遺跡として現地保存する事が望ましいと考えている。

県営比謝団地について

問　当該団地への出入り口は南側の一ヶ所であり、日常的に移動の不便さがある。また万が一の地震や大規模な火災が発生した場合の避難経路として、北側にも通路の確保が必要では

答　比謝団地を管理する沖縄県土木建築部住宅課によると、その様な要望は認識してないとの事。また、団地北側への通路確保のメリットは理解しますが、一方で不特定多数の者が団地敷地内に自由に出入り可能となる状況は、防犯面や交通安全面での課題もあり、慎重な検討を要するものと考える。



統計のもとでビジョンを持った村政運営を

與那覇沙姫（よなはさき）

ジェンダーギャップ解消と選ばれる村づくり

問　正規職員の賃金が男性367,147円に対し女性329,114円と、約3.8万円の差がある要因は

答　給料表は同一。上位役職に就いている割合などの「役職の差」が賃金差に表れている。

問　兵庫県豊岡市のように、若者や女性が選ばれる村づくりに向けた決意は

村長　職場の風通しの良さ、育休取得、子育て支援を含め、誰もが自分らしく働く姿を早期に確立したい。

子どもの権利を保障する仕組みづくり

問　少数派の子どもの声が届きにくく、居場所も不足している。具体策は

村長　「子ども家庭センター」を1名増員し、相談機能の充実と施策の拡大を推進する。

問　民間の「居場所」運営は人件費確保が難しく、善意に頼る現状は限界だ。村が責任を持って拠点を運営し、専門職を育成すべきではないか

答　事業の継続性と財源の確保が大きな課題であると認識している。

問　髪染め等を理由に教室や給食から遠ざけるのは、生徒指導提要に照らしても不適切。学校側の主張と子どもの実態の乖離をどう埋めるか

答　状況を真摯に受け止める。家庭と連携し、個々の変化や事情を認め、理解し、気づく指導に努めていく。

超高齢社会における地域医療

問　病院誘致やインフラ整備より、介護スタッフの雇用確保や丁寧なサービス維持のための財源確保を最優先すべきではないか

答　施設整備は医療法人が主体となる。村としてのインフラ整備（水道供給等）については、今後精査が必要である。

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

議会の様子をYoutubeで配信中

3年間の指定管理が決まった読谷村村診療所

江田（えだ） 守恭（もりちか）

読谷村診療所の指定管理について

問 「2期目からの指定管理料は0円で計画していきたい」は、指定管理者側も承知していたのか

答 承知していた。

問 指定管理期間5年間の法人に対する評価は

答 医療提供も経営状態も評価できる。

意見 患者数が一番多いとの事だが医者が多いので当然。医者の人件費が一番経費がかかる中、5年間の黒字経営と8,500万円の内部留保があるので経営状態はいい。村民の求める在宅医療の拡充に繋げてほしい

問 在宅医療はどう強化されるのか。指定管理者からの提案は

答 現状維持、努力するとの事。

意見 現状維持、努力するは最低限で当たり前。税金を使っているので、在宅医療の更なる強化を強く求めるべき。診療所が村立である最大の理由で村民が求めている事。

問 指定管理料850万の理由

答 指定管理者が計画した3年間の赤字5,400万の半分と経費。

問 R6年度から発生している地代家賃240万は

答 社宅、福利厚生費

問 減価償却費が前年比2.6倍の理由

答 施設修繕や備品、車が3台から6台に増えた。

意見 車が6台必要とは思わない

5,400万の赤字は内部留保を当てても3,000万余る。赤字が見込まれるなら、そうならない計画を立てるべきで、少なくても医療収入を上げる計画を立てなければならない。 企業努力を疑う。医療収益だけで十分経営できており、8,540万円の繰越利益剰余金（内部留保）まである。指定管理料の850万は必要ない。また、今回の指定管理の条件に、利益が出たら半分を返すとあるが、利益はコントロールできる。利益を減らしたい時は、経費を増やし、設備投資の前倒しや役員報酬を上げたりと調整できるので違和感を感じた。今後、どれくらい村に返ってくるのか注視していきたい。

建て替え予定の製糖工場

神谷（かみや） 嘉栄（かえい）

基幹作物であるさとうきび産業の将来性

問 沖縄本島唯一の製糖工場の施設建て替え費用で、２６市町村の負担額の算定方法は

答 均等割、面積割、生産割、農家戸数割により算定され、市町村負担総額約１２億円。

問 沖縄県さとうきび協同組合が設立されたが、新農協の果たす役割と本村との関連性は

答 新製糖工場の施設建て替え事業の整備主体となり、さとうきび振興と品質向上、加工体制の充実など持続的な製糖業発展を担う。また、本村との関連性は、製糖工場との連携強化や安定的な流通体制等の確立が図られる。

伊波村長からの令和８年度施政方針より

問 読谷村史「言語編」編纂計画内容を伺う

答 専門部会での検討内容を精査し、令和８年度で執筆者と内容を決定。９年度に執筆依頼、原稿の編集開始。１０年度発刊を計画。

問 本人が望む医療や介護等を家族や支援者と話し合う「人生会議」は、どう行う予定か

答 個々の状況に応じ家族同士や主治医、介護の専門職だったりと様々に想定し、どの様にしたら自分の思いを伝えることができるか講演会や講座等の開催を予定している。

問 設置し支援体制の強化を図る「読谷村障がい者（児）基幹相談支援センター」とは

答 福祉サービスの利用だけでなく、医療や就労、生活支援など複数の支援を必要とする場合、関係機関と連携、支援体制の調整、支援の方向性の検討などの取り組みを想定。

「災害関連死」の認定・支給決定関連

問 現在、４０市町村が沖縄県市町村総合事務組合で共同処理しているというが、今後、本村独自で取り組む計画はあるか

答 県の方針や他の市町村の動向、実務上の課題を踏まえ、村単独での実施を含め、必要な体制整備を検討していく。

議長就任のあいさつ

議長
上 地 利枝子

このたび、第550回読谷村議会臨時会におきまして、議長に就任することになり、身に余る光栄と同時に議決機関である議会の長の責任は、極めて重大であり、責任の重さを痛感しているところです。議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

現在、読谷村を取り巻く環境は毎年変化しており、厳しい財政状況のなか、少子高齢化社会に対応した、医療・福祉・教育の充実、地方創生への取り組み等、重要な政策課題が山積みしております。私たち議会は、村民の皆様から選ばれたということを肝に銘じ、多様化する住民ニーズの変化を的確に把握し、議会と村執行機関との真摯な議論により、村政の諸問題に有効な政策を推進していかなければなりません。村議会が持てる力を十分発揮できるよう、全力を尽くして参ります。今後とも村民の皆様におかれましては、村議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げて、就任の挨拶とさせていただきます。

副議長就任のあいさつ

副議長
當間　良史

このたび、議員各位のご推挙を賜り、副議長の要職を拝命いたしましたことに、心より感謝申し上げますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

副議長の職責は、議長を補佐し、公正で円滑な議会運営を支えることであり、その役割の重要性を深く認識しております。微力ではありますが、議会が村民の皆様の負託に応え、より開かれた信頼される議会となるよう、誠心誠意努めてまいります。

九月までの短い任期ではありますが、村民の皆様の期待に応えられる議会運営に努めていきたいと思います。

Q 村政を問う 一般質問ダイジェスト

PFI事業の収益施設全景

まつ だ　まさくに
松田　昌邦

本村伝統工芸品の現状と課題

問　やちむん市の開催状況について

答　去った2月21日及び22日に開催されたやちむん市は晴天に恵まれ、多くの来場者があり、読谷キャンプやコスモス畑、ゆん・ラボ未来館にも多くの方が訪れており村民センター地区一帯の賑わいがあった。

問　リニューアルオープンした読谷村共販センターの独自の取り組みは

答　やちむんを中心に琉球ガラスや読谷山花織など本村の伝統工芸品を展示販売している。イベントにおいて、企画展を開催すなど特色ある取り組みを行なっている。

ゆんラボ・未来館を含むPFI事業における民間収益施設について

問　収益施設内容と完成時期及びメリットは

答　ホームセンターとスーパーで令和9年3月開館予定である。メリットとして土地賃借料収入を見込んでいる。

青少年を取り巻く事件・事故等について

問　県内各地で未成年者による薬物や迷惑行為の発生件数の多発を危惧するが

答　薬物補導事案として令和6年59名、令和7年65名の報告がある。

問　相談窓口は

答　青少年の相談窓口は、教育委員会、青少年センターとなり、更生等については関係機関と連携していく。

不登校児への健康診断について

問　仙台市では、学校外で受診できる機会提供予算を計上するが

答　学校健康診断は疾病の早期発見・早期治療・健康状態の把握と保持推進し、学校生活への適応判断を行う事を目的とし毎年6月30日までに実施する。

問　諸事情により受診できない場合の対応は

答　再検査の時間を複数回設け、さらに直接検査機関への案内や学校医・学校歯科医のご理解により来院対応を行なっている。

※今後多くの医療機関で受診できる体制が必要と思われるので検討を！

議会の様子をYoutubeで配信中

住民の皆さんに知ってほしい

議会って議員さんが集まってどんな活動をしているの？

本議会

本会議は条例の制定や予算などの大切な議案について、議員全員で話し合い、賛成・反対を決める場です。開催は年に 4 回の定例会と、急ぎの案件があるときに開かれる臨時議会があります。また、定例会では年 4 回、議員が村長などに村のことについて質問する一般質問も行われます。

委員会

委員会は、議会をスムーズに進めるために設けられた小グループでの会議です。本会議で最終的な決定をする前に、議案の内容をじっくりと調べたり、詳しく審査したりする大切な役割を担っています。

全員協議会

全員協議会は、議案の審査や議会の運営について、議員全員で話し合い、意見をまとめるための会議です。
また、議会行事の進め方など、議会に関するさまざまなことについて、みんなで確認・調整する場としても活用されています。

議会報告会・意見交換会

議会でどのような活動を行ったか、その内容や成果を村民の皆さんにご報告する場です。また、村民の皆さんと直接意見を交わすことで、地域の声を議会に届けることができます。
さらに、いただいたご意見を政策づくりに活かす取り組みも行っています。

派 遣（研修調査視察会議）

議会の決定にもとづいて、議案の審査や委員会が担当する業務の調査・視察などのために、議員を現地へ派遣する制度です。
研修への参加や、国や県などへの要望活動（陳情）なども、この派遣制度を通じて公務として行われています。

共同販売センターが
リニューアル
オープン！

よみたん ガーデン
YOMITAN GARDEN

ざきみ さぼう
座喜味茶房

現代的な空間に琉歌など
飾られているのが印象的。

読谷産小麦が配合された
オリジナル麺が美味。

開放的な
テラス席もあります。

テラス ウィズ ポタリー
TERRACE WITH POTTERY

ギャラリーには村内陶芸家の
作品が展示されています

迫力ある職人の作品が
数多く展示されています

読谷山花織もあり、繊細な
点と線が目を惹きます

副支配人よりメッセージを
いただきました！

ジ・ウザテラス ビーチクラブヴィラズ
倉田美砂 副支配人

この場所は「読谷村共同販売センター」として、陶器、琉球ガラス、花織などの工芸品を多数扱い、
伝統を継承し、未来を拓く、個性あふれる作家たちを応援してきた場所です。
ものづくりの精神やアート、デザイン文化を通して、これからもさまざまな「縁」がつながる場所であり続
けられるよう、新たに「YOMITAN GARDEN BY THE TERRACE HOTELS」を１月にオープンいたしました。
地元、読谷村の皆様の憩いの場として、そして読谷村の魅力を世界に発信する場として
末永く愛される場所を目指してまいります。

読谷村座喜味 2723 番地 1

りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ46名でした。

令和8年6月定例議会は6月9日(火)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

▲Youtube
動画配信中!

読谷村公式ホームページアドレス
http: //www.yomitan.jp

〈お問い合わせ〉
議会事務局 TEL 098-982-9225

発行／沖縄県読谷村議会2026年6月（年５回発行）議長 上地　利枝子
〒904-0392　沖縄県読谷村字座喜味2901番地1
印刷／創明館プリントステーション　電話（098）958-3456